熊本県南部の拠点都市 ― 八代（やつしろ）市 ―

熊本県八代市は、産業拠点としての機能が高まっている。八代港のコンテナ取扱量はリーマンショック以来増加を続ける。熊本県は港に大型ガントリークレーンの設置を決めた。港は物流だけでなくクルーズ船の港としての利用実績を積んでいる。また、八代市は県のフードバレー構想で中心的役割を果たそうとしている。

大型ガントリークレーンを整備

八代市は、人口約13万人で熊本県第2の都市。九州の中心部にあり、半径150キロメートルに九州各県の主要都市が入る。古くから交通の要衝で薩摩街道が通った。2004年には九州新幹線が開業。新八代駅が市の新たな玄関口となった。幹線道路では九州自動車道と南九州自動車道のインターチェンジがある。

八代港は県内最大の港。10年には国の重点港湾に選定された。13年3月には水深14メートルの岸壁が完成、5万5000トン級の船舶が着岸可能になった。就航している国際コンテナは週3便で、韓国の釜山港と結ばれている。

13年の八代港のコンテナ取扱量は1万4834TEU（20フィートコンテナ換算）。リーマンショックで09年は8454TEUまで落ち込んだが、以降は毎年拡大を続けている。円高是正で、再生原料となる廃プラスチックの輸出が増えた。また、木材は韓国、中国、台湾向けの輸出が伸びている。港の後背地である熊本県や宮崎県の山間部は杉やヒノキの産地。林業関係者が近さを生かし、輸出に力を入れることが期待される。

コンテナの取り扱いを増やすため、熊本県と八代市には助成制度がある。新規の輸出入には1TEU当たり2万円。継続には1万5000円を助成する。その他、小口混載や植物の青酸くん蒸へも助成を行っている。14年度に限っているのは「長距離輸送利用企業助成事業」。北米、中南米、欧州、豪州およびアフリカとの間の輸出入が対象だ。1TEU当たり1万円を助成する。

八代市を中心とする港湾関係者は荷主の増加や航路の新設を目指した誘致に取り組んでいる。特に期待するのが台湾からの誘致。台北駐日経済文化代表処代表の八代港視察や市長や経済界による台湾訪問を行い、港の魅力を訴えている。台湾に注目するのは、台湾を足掛かりに東アジアからの誘致につなげたいため。市の港湾振興の担当者は「台湾の先にある香港やシンガポールからの誘致も見据えている」と話す。

熊本県は13年10月、八代港に大型ガントリークレーンを整備することを決めた。事業費は9億円。15年度に工事が本格化し、17年度に稼働する。現在のクレーンが、積めるコンテナは8列3段。大型クレーンによって13列5段になる。大型クレーンの導入で、対応できるコンテナ船の大きさが現在の6900トン級から3万トン級になる。さらに県はコンテナ集積場の拡張を計画する。

海の玄関口　八代港

八代港は近年、クルーズ船の入港地として活躍している。11、12年は、それぞれ5回の入港があった。11年は国内すべてのクルーズ船4隻が八代港を使用した。13年は尖閣問題を背景に海外からのツアーが減って1回だったが、14年に入り回復をみせる。これまでに2回入港。今後増える見通しだ。

クルーズ船は1回で1000人近くの観光客が訪れるため、経済効果が大きい。12年10月に入港した「コスタビクトリア」では中国、台湾から約1500人が訪れた。市は岸壁に特産品販売所や観光案内所、両替所を設置するなどして対応した。観光客は毎年10月に開かれる「やつしろ全国花火競技大会」を楽しんだ。

クルーズ船が入港

八代市は、熊本県が進める県南振興との連携に力を入れている。県は、八代市を含む県南地域の食品関連産業の振興に取り組んでいる。13年には地域活性化を目的に「くまもと県南フードバレー構想」を策定した。それを受けて市は、構想を市の政策に生かすための基本戦略を決定。農林水産部にフードバレー推進課を設置した。特に農林水産物の輸出を進め、八代港の振興との相乗効果を狙う。

市にはトマトやイグサ、メロン、ショウガなどの特産品がある。それらの高付加価値化に取り組む企業が出てきた。食品メーカーの蒲公英（たんぽぽ＝八代市）は、トマト加工品の開発に注力。乳酸菌を配合したトマトをベースに調味料などを製品化している。

八代港に入ったクルーズ船「にっぽん丸」

ユネスコの無形文化遺産登録へ

八代市の観光資源には開湯600年を誇る「日奈久温泉」や全国の花火師が腕を競う「やつしろ全国花火競技大会」などがある。中でも注目度が高まっているのが「八代妙見祭（やつしろみょうけんさい）」だ。

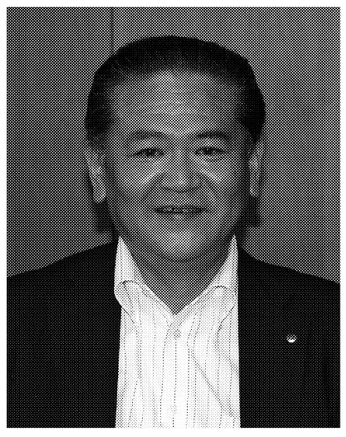
14年3月、文化庁は全国32の祭をユネスコの無形文化遺産の候補として提案することを決めた。その一つに「八代妙見祭の神幸行事」が含まれている。認定のための審査は16年に行われる。

八代妙見祭は山、鉾（ほこ）、屋台などを伴った行列が街を練り歩く。約380年の歴史を持ち、「笠鉾（かさほこ）」と呼ばれる豪華な鉾や、獅子舞や亀蛇（がめ）など40種類の出し物という規模の大きさが特徴。

市内では認定に向けた機運の醸成が必要と語られ始めている。観光関連事業を展開する神園交通（八代市）の神園喜八郎社長は「認定までにどうするかが重要」と話す。神園社長は、祭を盛り上げる一つの方法として、同じく無形文化遺産の候補に挙がった祭りとの連携を考えている。さらに八代の祭りではなく、熊本の祭り、九州の祭りにしていかなければならない」と語り、広域連携が重要としている。

八代妙見祭で披露される亀蛇（がめ）

八代市長　中村（なかむら）博生（ひろお）氏



―市の経済状況を聞かせて下さい。

「基幹産業である農業では、施設園芸のトマトなど主要品目は価格が安定している。日本製紙など大手の工場は堅調だ。今後は農林水産業の振興が不可欠。そのためにフードバレー構想を推進する。6次産業化や農商工連携を進め、付加価値を高める」

―八代港は市にとってどのような存在ですか。

「重要な物流基盤であり、市は港とともに発展してきた。港があったからこそ大手企業の進出があった。今後も港湾機能の充実を図り、物流拠点都市づくりを進める。港の振興が県南全体の振興につながる」

―クルーズ船の誘致が重要です。

「観光客一人ひとりに対する〝おもてなし〟の心が重要となる。関係する事業者だけでなく、すべての市民が参加して対応していきたい」

―今後の抱負は。

「雇用創出に取り組むことで若い世代の定住につなげたい。それが少子化への対応になる。フードバレーでは研究開発への支援に力を入れ、農林水産物の八代港からの輸出にこだわっていきたい」

八代商工会議所会頭　松木（まつき）喜一（きいち）氏

―市内の景気をどのように見ていますか。

「一部に弱い動きがみられるが、全体的には穏やかに回復している。マインドは確実に良くなっている。市の経済の基盤である一次産業は堅調。特にトマト、イグサ、メロンなどは品質の高さが評価されている。円安で台湾、韓国、中国への木材の輸出が増えている。市内に進出している大手工場も好調で、協力業者に波及効果が出ている」

―市の経済にとって八代港はどのような存在ですか。

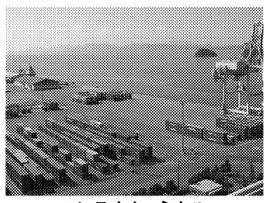
「いつの時代も交通の要衝になる絶好の地だ。しかし現在は少子高齢化で国内市場は縮小していく。それに伴い産地や工場は集約される。その時にカギとなるのは港湾力だ。今後、アジアを意識したグローバルな思考で、国や自治体と協力し、さらに魅力のある港にしていく」

―クルーズ船の増加が期待されます。

「アジアから見て八代港は、阿蘇や熊本城など熊本観光の玄関口。さらに福岡と鹿児島のどちらにでも行ける九州観光の入り口として発展させたい」

乳酸菌で腸を元気に!!
乳酸菌を使用した熊本産トマトのキムチソース
とまとキムチ風ソース
炒め物に！
サラダに！
鍋物に！
680円（税込み）
名　称：株式会社　蒲公英
代表取締役　水永　民男
住　所：八代市長田町2829-3
業　種：農水産物加工販売・ケータリング等
連絡先：0965-35-4345

中九州地域のゲートウェイ「八代港」


コンテナターミナル

大型クルーズ客船寄港

バルク貨物船入港

（八代港港湾振興協会）
当協会は、69の企業・団体と21の海事関係行政機関で組織されており、要望活動、港利用促進のためのポートセールス活動、大型クルーズ客船の寄港誘致活動、八代港を身近に感じてもらうためのイベントの開催など、地域に愛される八代港づくりに取り組んでいます。

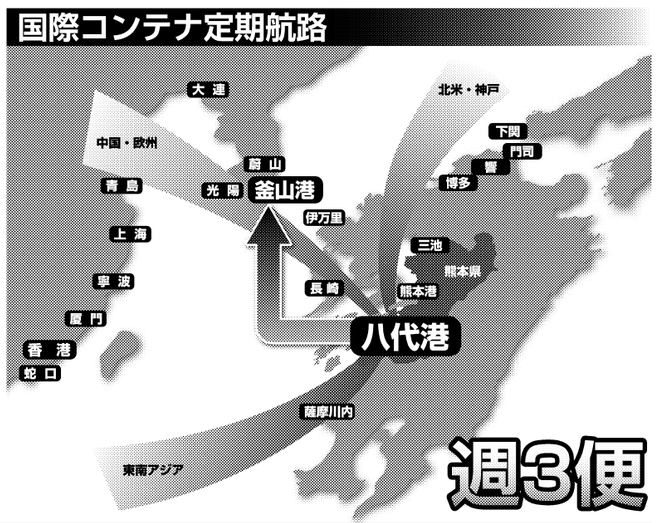
八代港港湾振興協会
PORT OF YATSUSHIRO
事務局／熊本県八代市国際港湾振興課
〒866-8601 熊本県八代市松江城町1-25　TEL／FAX 0965-43-7855
HP http://www.yport.jp/　E-mail info@yport.jp

松木運輸株式会社
MATSUKI GROUP
〒866-0851 熊本県八代市毘舎丸町1-3
TEL 0965-32-6111　FAX 0965-32-6114

八代港から世界へ発信

八代港▸釜山港
火曜運行　八代(火)→釜山(水)・(日)→長崎(月)→熊本(火)→八代(火)
開設船会社／高麗海運株式会社　日本総代理店／高麗海運ジャパン株式会社
開設期日／平成11年7月1日(木)　船舶代理店／日本通運株式会社八代支店　TEL0965-37-0011
木曜運行　八代(木)→長崎(金)→釜山(土)・(火)→下関(水)→博多(水)→八代(木)
開設船会社／長錦商船株式会社　日本総代理店／株式会社シノコー成本
開設期日／平成25年6月1日(土)　船舶代理店／株式会社曙組　TEL0965-37-1355
金曜運行　八代(金)→三池(金)→釜山(土)→三池(月)→薩摩川内(火)→釜山(水)→薩摩川内(木)→八代(金)
開設船会社／興亜海運株式会社　日本総代理店／三栄海運株式会社
開設期日／平成11年6月18日(金)　船舶代理店／八代港運株式会社　TEL0965-37-3111
八代港▸神戸港
八代→響→(神戸)→響→薩摩川内→八代
開設船会社／井本商運株式会社
開設期日／平成25年8月26日(月)　船舶代理店／日本通運株式会社八代支店　TEL0965-37-0011

国際コンテナ定期航路



八代港の助成
①八代港国際コンテナ利用拡大助成事業
新規　1TEU当たり➡　2万円
継続　1TEU当たり➡　1万5千円

その他助成
②八代港コンテナ輸送利用促進助成事業
③八代港小口混載貨物（LCL）利用促進助成事業
④八代港青酸くん蒸にかかる費用助成事業
⑤植物防疫検査費用助成事業

コンテナ輸出入に関するご用命は
●（株）曙組……TEL:0965-37-1355
●（株）上組八代支店……TEL:0965-37-3565
●九州紙運輸（株）八代営業所……TEL:0965-46-5220
●日本通運（株）八代支店……TEL:0965-37-0011
●パシフィックグレーンセンター（株）八代支店…TEL:0965-37-3241
●松木運輸（株）……TEL:0965-37-1101
●八代港運（株）……TEL:0965-37-3111
●（株）ジェネック八代営業所……TEL:0965-37-3541
（順不同）
お問い合わせ先　八代港ポートセールス協議会事務局（熊本県商工観光労働部新産業振興局 企業立地課ポートセールス推進室内）
〒862-8570 熊本市中央区水前寺6丁目18番1号 Tel.096-333-2514 Fax.096-385-5797　http://yatsushiro-port.jp/
八代港ポートセールス協議会　検索